



総合評価コメント	評価
<p>・評点の平均値は概ね4点前後で推移しており、早急な改善を要する事項は認められないことから、指定管理業務は仕様書および協定書の要求水準を満たし、安定的かつ適切に履行されていると判断し、評価を「A」とする。</p> <p>・組織運営体制について、一部人員体制の変動があったものの、ベテラン職員を中心とした安定的な業務遂行がなされており、重大な運営上の支障は認められなかった。一方で、研修体制や職員の意識向上に関する仕組みについては、今後の持続的運営の観点から更なる充実が望まれる。</p> <p>・収益状況および財務管理については、黒字を確保するとともに、自己資本比率および流動比率が高水準を維持しており、財務基盤は極めて健全である。経費管理や現金管理体制も適切であり、内部統制は概ね有効に機能していると認められる。</p> <p>・施設・設備の維持管理については、法定点検や日常点検が適切に実施され、現地調査においても安全性および美観は良好に維持されていることを確認した。</p> <p>・文化芸術振興機能について、人材育成支援、アウトリーチ活動、教育機関との連携等が継続的かつ積極的に実施されており、地域文化拠点の役割を十分に果たしている点は特に評価できる。</p> <p>・以上を総合すると、本施設は安定した運営段階にあり、基礎的管理水準は確保されている。一方で、今後の持続可能性を見据えた人材育成体制の体系化および若年層利用拡大への戦略的取組が今後の重要課題である。</p> <p>【優れている点】</p> <p>・財務状況は引き続き安定しており、高い自己資本比率および流動比率を維持している点は評価に値する。</p> <p>・文化芸術振興機能において、若手芸術家への育成支援や学校との連携、地域文化の普及活動が高い水準で実施されている。</p> <p>・アウトリーチ活動や自主事業を通じ、地域との接点を積極的に創出している点は、市民参加型施設運営として評価できる。</p> <p>【改善が求められる点】</p> <p>・人員不足や欠員が生じた影響により、計画的な研修体制が十分に構築されていない。持続的な施設運営の観点から、人材育成の体系化が必要である。</p> <p>・若年層の利用拡大については、さらなる広報手法の工夫や企画内容の検討が求められる。</p> <p>・職員の目標管理や意識向上に関する組織的な仕組みづくりが今後の課題である。</p>	A
課題と今後の方針	
<p>【施設の運営課題についてのアドバイス】</p> <p>○組織運営体制(人員確保および人材育成)</p> <p>人材確保が困難な状況の中、安定的な運営体制を維持するためには、正規職員に加え、パート職員等も含めて一定水準の業務が遂行できる体制の構築が必要である。巡回業務等についてはチェックシートの活用などにより業務を標準化し、属人化を防ぐ取組を進められたい。</p> <p>また、次年度より予定しているオンライン研修の着実な実施を期待するとともに、公文協のオンラインセミナー等も活用し、継続的な人材育成体制の整備を図られたい。</p> <p>○若年層利用拡大への対応</p> <p>若年層の利用割合が低いことは全国的な課題であり、本施設においても対応が求められる。サブカルチャーやデジタルアート等、若年層に訴求する企画の検討や、Instagram等のSNS活用による広報強化が望まれる。</p> <p>あわせて、利用団体や学校との連携を通じて若者との意見交換の機会を設け、若年層の視点を事業運営に反映させる仕組みの構築を図られたい。</p> <p>【今後の方向性について】</p> <p>本施設は、安定した財務基盤と充実した文化芸術事業を強みとして、地域文化拠点としての役割を着実に果たしている。今後は、この基盤を維持しつつ、持続可能な組織運営体制の整備と新たな利用者層の開拓を進めることが重要である。</p> <p>組織面では、業務の標準化やオンライン研修の活用により、人材確保が困難な状況下でも安定的に運営できる体制を構築されたい。</p> <p>また、若年層の利用拡大に向け、企画内容や広報手法の工夫を進めるとともに、若者の意見を事業運営に反映させる仕組みづくりが望まれる。</p>	